

# YMCA News



神戸YMCA年間聖句 「あなたの未来には希望がある」(エレミヤ書31章17節)

## YMCA Brand Concept

私たちの約束

### Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う  
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、  
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。  
課題の多い社会の中で、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。  
私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かして  
ポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

### Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。

私ができる、かけがえのない場所。

みつかる      つながる      よくなる  
Encounter      Connect      Transform

### Personality

ブランドとして備えているべき個性、らしさ

心をひらき、わかち合う。  
前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

Open & Sharing. Proactive & Attractive.



神戸YMCA  
会長 中道 基夫



総主事 井上 真二

### ～ポジティブネットのある社会を目指して～

「神の国は、からし種のようなものである、土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る」 マルコによる福音書4章31-32節

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本のYMCAは1880年に東京で始まり、これまでの間、多様な分野でパイオニアとなる働きを全国各地で展開してきました。私たちの歩みを社会に伝え、多くの人をYMCA運動に招くために日本全国のYMCAで取り組んでいるブランディングのなかで、2016年6月にブランドコンセプトを発表しました。そして未来に目線を上げ、これからも必要とされるYMCA、多くの方々には選ばれる存在になるために2017年10月から新しいロゴとスローガンを掲げました。

政治、経済、環境等に世界規模での大きな変動が続いており、さらに世の中が混沌とし、子どもたちや若者が置かれる状況も憂慮される厳しい環境にあります。YMCAが社会や家庭の中に希望の光を示すために、私たちの歩みを見つめなおし、変革のためのアクションに向かっていく場所となることを目指していきます。このような全国YMCAのチャレンジをご理解いただき、共に歩んでいきたいと思っております。

2018年も皆様のご参加とご支援、またご指導をお願い申し上げます。

### 第20回 チャリティーラン2017が行われました

素晴らしい秋晴れのもと、しあわせの村にて「第20回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2017」が開催されました。“あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます。”をキャッチフレーズに、ランナーも来場者も奉仕者もみんなが笑顔でハッピーな時間を共有することができました。今年も小学生駅伝、1/10マラソン、グループラン、1/100マラソンを行い、走りや表情、パフォーマンスといった各々の表現方法でみなさまの想いを伝えていただいたことに感謝いたします。また、今後もこの想いが引き継がれていくようにしていきたいと思っております。最後になりましたが、多くの協賛企業、協賛者及び協力団体のみなさまのお力添えにより、今回も無事に大会を終えることができました。ご支援、ご協力いただき心より感謝申し上げます。



## 西神戸YMCA幼稚園

西神戸YMCA幼稚園は、来年度「幼保連携型認定こども園」に移行するにあたって昨年の7月末より11月中旬にかけて改修・増築工事が行われました。

工事中は、私たちが「安全第一!」を合言葉に過ごしました。遊べる園庭の広さは3分の1となり、鉄棒も滑り台も、ブランコも安全柵の向こう側になってしまって遊べませんでしたが、その代わりに園の前の公園に毎日通いました。そのおかげで「横断歩道の歩き方」がとても上手になりました。また、園庭に重機が入り大喜びの子どもたち!コンクリートミキサー車がコンクリートを流す作業では2階の廊下から大歓声!拍手が沸き、作業の方々も笑顔で応じてくださいました。年中組では“工務店ごっこ”が始まりました。ヘルメットらしきものを被り、砂利運搬や釘打ちの真似っこ遊びを楽しんでいると現場監督さんや建設会社の社員さんが来てくれて大喜びの子どもたちでした。暑い夏も秋になってもずっと子どもたちの安全に配慮しながら、毎日毎日作業をしてくださった多くの方々に心から感謝します。



## 西神戸学童保育クラブ



YMCA西神戸学童保育は、地下鉄学園都市駅にあるYMCA西神戸ランチの会館で行っている学童保育です。現在は近隣の東町小学校・小寺小学校・太山寺小学校・小東山小学校4校から子どもたちが集まり現在112名の児童が在籍しています。

学童保育では、運動会や音楽会の学校代休日には遠足に出かけます。11月の代休日はバスに乗って名谷あじさい公園で活動しました。普段は時間割が異なり生活の時間が違う1~3年生で男女混合の縦割りグループでの活動でしたが、学年関係なくそれぞれがどのような遊びをするか話し合う姿がたくさん見られました。

今度も「第2の家庭」として家庭や地域、小学校と力を合わせ、子どもたちの歩みの場としての学童保育でありたいと思います。

## YMCAの保育園 こども園(西宮)



保育園では一年を通じて様々な植物、特に食べられるおやさいを育てています。夏の植物は園児がお番を交代で毎日せせとお水をかけて、日に日に育っていく様子を見てその生長を喜びます。でも冬のおやさい、大根やニンジンはお水を毎日やるほどのことも必要としません。ましてや目に見える部分の成長は夏野菜に比べて変化を見せてくれません。だから、その収穫は喜びというより驚きです。「寒い中、いつの間にこんなに大きく育ったの!」と。

子どもの育ちも、冬の植物の育ちに相通ずる部分があるように感じます。「また服が靴が小さくなった」はもちろんこと、「立った」「しゃべった」「～ができるようになった」と育ちが見えてうれしいことはたくさんあるでしょう。でも、保育にかかわる中で、どちらかといえばじっくりと活動を過ごす冬にこそ「遊びこめる力がついた」「友だちとのかかわりが深くなる」「やってみたい気持ちが広がる」など見た目にはわかりにくい育ちを感じる事が多いです。能動的な活動だけでなく、じっくりとした生活の中にも、子どもの世界があり、遊びやかかわりを通じた育ちがあるのです。

2017年10月に公表されたブランドコンセプトに合わせて、神戸YMCAの保育園(こども園)のインターネットサイトもリニューアルしました。保育園での子どもの育ち、日々の遊び、日々の生活、日々の営みから与えられることが伝わればと、園の願いだけでなく園の生活や遊び、行事も紹介する中で、どんな様子があったのか、何が育っているのかを紹介させていただいています。この目には見えない、見えにくいものを伝える取り組みを通じて、おうちの方々、また地域の方々により一層保育園につながってもらえればと思います。チャレンジをしています。見て知って感じて、より保育園を、YMCAを好きになっていく中で「みつかる。つながる。よくなっていく。」が広がるよう願っています。

## 北須磨文化センター

北須磨文化センターでは秋が色濃くなってくると9~10月にかけて北須磨フェスティバルを開催しています。去る10月28日に落合中央公園をフィールドとし、家族の絆と交流を深めるイベント、『北須磨ファミリーアドベンチャー』を開催しました。このイベントは流通科学大学との協働で行い、公園内に散りばめたポイントでは自然を活かしたゲームを、体育館では家族間交流を目的としたニュースポーツを、学生たちがおおよそ一カ月かけて準備し、運営までを行いました。当日は台風の影響を受け、屋内でのプログラムとなってしまいましたが、規模は縮小されたものの、参加した親子は学生たちが企画した各種ゲームを存分に楽しみました。これからも北須磨文化センターはコース世代や地域の教育施設と協働しながら、子育て世代の支援にも力を入れていきます。



## 室内プール100年記念YMCAスイムカーニバル

10月29日(日)、室内プール100年記念YMCAスイムカーニバルが行なわれました。子どもから成人まで、幅広い世代の会員や、ボランティア、スタッフ総勢150名もの方が参加してくださいました。ファミリーウエルネスセンター開設後、多世代が一同に介すプログラムが初めてできました。第1部の記録会、おたのしみのアイランドヨガ、第2部の運動会どれも世代を超えて協力し、応援しあい、とてもよこびが溢れる雰囲気の中で行なうことができました。また記録会では元会員で日本水泳連盟公認審判をされている方に来ていただき緊張感漂う本格的な記録会を味わいました。

初めての取り組みでしたが、参加された方からは「第2回もやるよね?絶対参加する!」や「すごく楽しかった!」との声をいただき、一人ひとりが前向きになるプログラムとなりました。第2回も開催予定!今後はイルカ記録会やマスターズなどにも繋げていきたいと思っております。



## 第18回学園ワイワイまつり



10月21(土)に西神戸YMCA会館にて第18回ワイワイまつりがおこなわれました。

雨天により、館内での実施でしたが、約800名の多くの地域の方が来館され、ボランティアとスタッフが共に交わりYMCAらしいバザーとなりました。

収益金は国際協力募金、災害被災地支援、地域活動にあてさせていただきます。お支えいただいた皆様、足をお運びくださった皆様、ありがとうございました。

## YMCAセミナー



2017年11月18日(土)三宮会館・チャペルにて、ミッション委員会主催の「YMCAセミナー」が行われました。YMCAの「C」というヘリテージをどう携え、どう活かして行くのか日本YMCA同盟 神崎 清一総主事、ぐんまYMCA 村上 祐介

総主事、そして神戸YMCA 井上 真二総主事をパネラーに迎え、日本基督教団 神戸東部教会 古澤 啓太牧師にナビゲーターを担っていただき、開催をいたしました。各総主事のキリスト教を感じた瞬間や、YMCAの職員として業務・プログラムを進めて行く中で、感じた「C」をお話しいただきました。「YMCAは野にある教会」という言葉に参加者のみなさんの多くが頷く様子が見え、「キリスト教」と「強み」それがあることの「価値」=YMCAであること。今までのそして、これからのYMCAが考え、進めて行くべくことがらを上手く、わかり易く表現されたと感じました。

## シリーズ こくさいのまど 55



あなたのそばに泣いているお友だちはいませんか?

神戸YMCA国際協力募金みんなのいのちだからね

Is there someone crying near you?

YMCA International Cooperation Fund Raising For everyone's life.

神戸YMCA国際委員会では、2017年度国際協力募金活動を通して子どもたちと「人権」について学び、考えていくことを大切にしようとお話ししました。子どもたちと学ぶツールとして、紙芝居「ポーポキのお話し」を作成しました。泣いている猫を主人公に、そこにはどのような人権問題が含まれているのかを考え、私たちがどのようなアプローチで泣いている人に寄り添うことができるのかを問かける内容です。

YMCA・YWCA合同祈禱週に合わせて太山寺児童館に通う学童保育クラブの子どもたちに読み聞かせをしました。「ポーポキはなぜ泣いているのだろう?」と子どもたちと考えました。

「1人ぼっちで寂しいのかな?」

「誰からも話かけてくれないからかな?」

「ネコ語が通じないからかな?」

泣いているポーポキの悲しみ、不安、孤独な気持ちを共有することができました。

最後に、「あなたのとりに泣いている人はいませんか?」という紙芝居の問いかけに子どもたちと「となり」とは誰のことかと考え、近くにいるお友だちのことや世界で困っている人のことも「となり」。YMCA国際協力募金も私たちの「となり」の人のためにあります。肌の色が違うから差別を受けたり、暴力により安心した生活を搾取されたりと、様々な理由で涙している人がいます。YMCAに集う子どもたちには「となり」の人に自分ができること、手を差し伸べられる人になって欲しいと願います。

## 第35回西宮Yわいカーニバル

10月22日(日)第35回西宮Yわいカーニバルが行われました。当日は10月末としては珍しく台風21号の接近という状況の中、出店数、時間も縮小しての開催となりました。前日と当日の準備、打ち合わせでは「悪天候の中、お越しいただいた一人ひとりが楽しんでもらえるようにお迎えしましょう」と、奉仕者一同様々な変更や工夫をしながら準備を行いました。急遽保育園の3階ホールで行うことになったステージでは、保育園の子どもたちの歌や学童の子どもたちのけん玉披露など今回、初めての催しも行われ、大いに盛り上がりました。また恒例の「のみの市」やワイズ名物のカレー、保育園のうどんなども好評でした。あいにくの空模様でしたが、来場者とボランティアをあわせ400名余りという、予想をはるかに超える多くの皆様に支えられて無事、笑顔に包まれて終えることができました。皆様のお支えに心より感謝申し上げます。



神戸YMCA高等学院開校15周年記念 教育セミナー



神戸YMCA高等学院開校15周年記念教育セミナーを開催しました。「中高生に対する保護者・先生のかかわり方」というテーマで、10月・11月・12月の3回にわたって実施しました。3回目の12/10(日)は、「家庭でのコミュニケーションのちょっとしたコツ～思春期からの子どもの理解と共に～」と題し、関西学院大学大学院文学研究科受託研究員の廣瀬真理子先生に、応用行動分析をベースとしたお話をいただきました。「できる・できないは、環境(家族・周囲の人のかかわり)に左右される。」というメッセージが、とても印象的でした。

2017年度YYフォーラム

ひろげよう! ～ブランディングから始まるYストーリー～

日時: 2018年2月10日(土) 13:00～17:00

場所: 神戸YMCA三宮会館

今回で3回目を迎えるYYフォーラムでのブランディングへの取り組み。2017年10月より新しいスローガンやロゴが発表され、いよいよ広く社会にむけて発信することとなりました。そこで今回は私たちが、発信する立場としてブランディングをどう推し進めることができるかを神戸YMCAに関わる皆さんと熱く語り合いたいと思います。たくさんのご参加をお待ちしております。

「秋の講演会」

10月28日(土)、我々の敬愛する阿部志郎先生(横須賀基督教社会館会長)を三宮会館にお迎えし、約90名の聴衆を前に1時間半の講演会が開催されました。若き日の神山復生病院での井深八重との出会いから始まり、今後のYMCAのあり方への示唆まで極めて強力なメッセージをいただきました。降りしきる秋雨をものともせず地域の福祉あるいは教育関係者が一堂に会し、終了後、会場のそこそこで再会を喜び合う姿が見られ、これも先生のお人柄を感じさせる会となりました。

なお共催をいただいたひょうご子どもと家庭福祉財団のご厚意で現在講演内容をまとめていただいております。作業が完成しましたらまた紙面で紹介したいと思います。



ファミリーウェルネスセンター  
YMCAホームヘルパーの事務所  
ランゲージセンター  
専門学校  
西宮YMCA  
三田YMCA  
余島野外活動センター  
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)  
国際・奉仕センター  
ウェルネスセンター学園都市  
西神戸YMCA  
神戸YMCA高等学院

☎078(241)7202  
☎078(241)7237  
☎078(241)7204  
☎078(241)7203  
☎0798(35)5987  
☎079(559)0075  
☎0879(62)2241  
☎078(241)7216  
☎078(241)7204  
☎078(793)7401  
☎078(793)7402  
☎078(793)7435

YMCAおひさま  
西神南YMCA  
須磨YMCA  
YMCA保育園  
西宮YMCA保育園  
西神戸YMCA保育園  
神戸学園都市YMCAこども園  
神戸YMCAちとせ幼稚園  
YMCAちとせ保育ルーム  
西神戸YMCA幼稚園  
西宮つとがわYMCA保育園  
あかしこども広場

☎078(793)9077  
☎078(993)1560  
☎078(734)0183  
☎078(794)3901  
☎0798(35)5992  
☎078(792)1011  
☎078(791)2955  
☎078(732)3542  
☎078(786)3821  
☎078(997)7705  
☎0798(26)1016  
☎078(918)6355

2018年1月1日発行  
1947年10月27日  
第3種郵便物認可  
発行所/日本YMCA同盟  
東京都新宿区本塩町 2-11  
THE YMCA神戸版  
神戸YMCA  
〒650-0001  
神戸市中央区加納町 2-7-11  
Tel 078-241-7201  
Fax 078-241-7479  
www.kobeymca.org  
発行人/井上 真二  
編集人/西田 勉  
印刷/わかばやし印刷



ハンドベルコンサート

去る11月26日(日)に神戸栄光教会にてDing Dong Ringers 第8回ハンドベルコンサートを開催いたしました。

これに先立ち、今年9月、Ding Dong Ringersは台湾演奏旅行を行いました。この演奏旅行は、高雄YMCAの張家恵氏が神戸YMCAでのハンドベル演奏に感銘を受けられたことから始まり、今年で6回目となりました。今回、張氏の88歳と結婚60周年の祝賀会で、一時間余の演奏を祝賀会の中心に据えて頂くという荣誉に浴し、私たちは、これ迄の感謝と彼らの祝福を願いながら演奏させて頂きました。

両国の今後の継続的な交流のためと、台湾演奏旅行のために準備してきた音楽を神戸の皆さんとも是非分かち合いたいと思い、開催するに至りました。

力をお貸しくださった神戸YMCAとそのスタッフの皆さん、有り難うございました。



感謝・寄附

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

会館建築募金

菅根信彦、高井和代、日本基督教団神戸教会付属石井幼稚園、神戸教会いずみ幼稚園、木島三雄、大林富雄、(株)淡路屋代表取締役 寺本督、野外活動バンビOBOG会、牧野満喜子、坂本滋、日本基督教団御影教会 鳥居司、株式会社三富商店 木下勝文、宮田泰子、浅木幸雄、小田浩、小野勅紘、田中宏明、片岡尹子、野田彩未、医療法人社団朝日ビル中院クリニック、石丸鐵太郎、山崎恵、川北道子、為広かね子、宮地京子、館忠之、中田亜弓、岩井正好、中道澄晴、海士部大作、今西時子、才川一美、林恵子、宝塚ワイズメンズクラブ、坂本司良、佐藤一郎、岩井義矢、尾上美絵、松田道子、岩本和憲、進藤啓介、松岡義隆、加藤明宏、松嶋博子、公益財団法人ぐんまYMCA 総主事 村上祐介、日本基督教団神戸聖愛教会、神戸地下街(株)代表取締役社長 佐藤一郎、芝川英美子、浜野昌保、旧職員一同、匿名4件

子ども奨学金

今井三千雄、住野和子、浅井まゆみ

事業活動への寄附

杉山秀光、塔本均、宝塚ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、山田博胤、中山豊美、山ノ井景子、上杉徹、兼田幸子、植村篤子、桜井聡子、少年部OBOG、高松順太、松田弘行、浜脇学童保護者会、ロータリークラブ有志、松永敬子、兼田幸子、原寛、神戸YMCAベルクワイアー代表 阿部望、久保孝雄、(株)大林組神戸支店、藤本食料品店、西宮市用海育成センター父母の会、余島キャンPOBOG会

